

発行所  
八尾市消防団  
発行責任者  
八尾市消防団長  
向井正雄  
八尾市高美町5-3-4  
TEL (072) 992-0119  
FAX (072) 992-7722  
刊行物番号 H30-87



**大阪府消防大会**  
ポンプ車操法の部  
安全・確実な操法で見事優勝!

平成30年9月2日(日)、大阪府立消防学校において、第62回大阪府消防大会が、晴れ渡る秋空の中開催され、安全・確実・迅速な操法を披露した選手たちは、見事に優勝することができました。

今年度、中河内地区支部代表として、八尾市消防団南西方面隊がポンプ車操法の部に出場しました。

当日は、指揮者の井形団員を始めとする選手一同は、リラクセスした様子でしたが、円陣を組み集中力を高めた選手たちの一点を見据えた目は、自信に満ち溢れていました。

2月から始まった訓練は、厳しい寒さに耐え、6月の梅雨を乗り越え、真夏の炎天下をこらえ、南西方面隊が一丸となり、訓練に取り組んだ結果だと思えます。

短期間の訓練で、目標に向かい、まとまったこのチームは素晴らしいチームだと思います。

初の全国大会へ出場する南西方面隊は、季節がうつり、夜は涼しくなったとはいえ、まだまだ熱い訓練を続けていきます。

◆(志紀分団 平池 稔)

### 消防団員任命式

平成30年3月30日(金)消防団員の任命式が挙行され、18名の新団員が誕生しました。

新団員の皆さんにこれからの抱負について伺いました。

氏名(所属)

- ①職業
- ②趣味
- ③抱負



岩本 暢宏(久宝寺)

- ①会社員
- ②ゴルフ・ソフトボール
- ③わからない事ばかりで、ご迷惑を掛けたいと思いますが、早く諸先輩方に追いつけるよう頑張ります。



佐野 吉宏(久宝寺)

- ①会社員
- ②ソフトボール
- ③少しでも多くの活動に参加し、地域防災に貢献できるように頑張ります。



浅野 一昭(西郡)

- ①建築業
- ②スポーツ観戦
- ③親方として仕事をする中で体力や責任感を養いました。この経験を活かして地域の為に貢献します。



津曲 望(西郡)

- ①建築業
- ②映画鑑賞
- ③元々地域活動に興味があったので入団を決意しました。先輩方とともに団活動を頑張っていきます。



福井 雅悠(大正)

- ①会社員
- ②ジョギング
- ③家族や仲間がいる地域に貢献できるように自分ができる一歩先を見据えて成長していきたいです。



波賀 清志郎(曙川)

- ①学生
- ②日本拳法
- ③先輩団員、消防士の方々の強い志に感動し、火災や人命救助の考え方が変わりました。もっといろんな知識を身に付けたいです。



湯川 活人(曙川)

- ①大学生
- ②バスケットボール
- ③消防士になる夢があり、その為にも消防の知識を増やし、地域に貢献出来るよう努力します。



小川 慎平(高安)

- ①建築作業員
- ②野球
- ③諸先輩方を見習い、一日でも早く地域に貢献できる消防団員を目指します。



川西 達也(山本)

- ①会社員
- ②スノーボード
- ③初めてで分からない事がありますが、宜しくお願ひします。



坂本 良太(山本)

- ①食品製造
- ②アワードア
- ③先輩達のご指導のもと精一杯地域の安全のために頑張ります。



内藤 裕之(山本)

- ①印刷業
- ②音楽鑑賞
- ③消防団員として地域の安全のために尽力していきたいと思ひます。



谷川 時人(志紀)

- ①アルバイト
- ②テニス
- ③地元地域を安全で安心でできる地域にするため、微力ながら頑張りたいと思ひます。



田原 修平(志紀)

- ①運送業
- ②釣り
- ③地域のため、市民のために常に動けるよう訓練に励みます。



中辻 隆治(志紀)

- ①フリーター
- ②音楽鑑賞
- ③消防団員としての活動にできる限り参加し、生まれ育った町を守るように頑張ります。



松本 淳一(志紀)

- ①会社役員
- ②旅行
- ③生まれ育った地域で、自分ができることを精一杯頑張ります。



小宮 美奈(女性)

- ①会社員
- ②編み物
- ③地域のみなさんとの関わりを大切に、応急手当の普及活動を中心日々勉強努力していきたいです。



武下 真弓(女性)

- ①主婦
- ②アロママツサージ
- ③今まで、生協委員やPTA活動をしてきましたが、これからは消防団員として地域に貢献したいです。



武田 恵美(女性)

- ①市職員
- ②読書
- ③消防団員として、日々自己研鑽に励みます。また、応急手当指導員として地域社会に貢献していきたいです。

### 女性分団創設及び活動について

平成30年4月1日(日)、女性分団が創設されました。

今年度入団した3名を含め10名すべての女性団員が、応急手当指導員の資格を取得し、救命講習や各種行事に参加して、心肺蘇生法やAEDの使い方を指導してま

す。その中でも地域イベント「山本コミセンわくわくフェア」では、救命処置に関心をお持ちの親御さんが多数参加されており、沢山の質問を受け、説明するのに戸惑う場面もありましたが、色々経験し、日々成長していこうと思っ

ています。これからも、より一層パワーアップした女性分団をどうぞよろしくお願ひ致します。

◆(女性分団 中谷 美和子)



基礎(初任)教育訓練課程



平成30年5月27日(日)、6月24日(日)の2日間、大阪府立消防学校において、基礎(初任)教育訓練課程として、今年度入団の新団員18名及び昨年度入団後未受講の3名を含む総勢21名が訓練に参加しました。

5月27日(日)のA課程では、活動時の安全管理について学び、消防団の活動が常に危険と、とり合わせであることを再認識しました。

「訓練礼式」では、「敬礼」「休め」他、行進を含め組織活動の基礎となる規律について教わり、「資機材取扱い訓練」では、ホース延長などの基本動作を学び、放水訓練を行いました。

6月24日(日)のB課程では、自然災害について学びましたが、特に6月18日(月)に大阪府北部地震が発生したばかりということ、とても興味深く学びました。

この教育訓練で、消防団員としての基礎を学び、やっとスタートラインに立ったなという気持ちです。

市民の安全・安心のために、今回学んだことを災害現場で活かしたいと思います。

◆(曙川分団 湯川 活人)

北山本小学校区自主防災訓練

平成30年5月26日(土)、北山本小学校区自主防災組織主催の訓練が実施されました。

想定としては、日中に地震が起これ、児童は小学校に在籍、各家庭に高齢者や避難困難者が在宅しているという内容で、訓練が開始され、児童は教室から校庭へ避難、

高齢者や避難困難者は、町会毎に指定場所に集合した後、一時避難地の山本町北第二公園(きりん公園)に避難を実施しました。

きりん公園に避難後、点呼を行い避難困難者の在宅確認を行いました。



また、小学校に配備されている、車イスを利用し、高学年の児童が中心となって、補助を行い高齢者避難困難者を指定避難所の北山本小学校に避難させました。

この訓練は5年目となります。

ほとんどの大人が仕事などへ行っている日中の時間帯に地震が発生すれば、地元に残っているのは小学校に通う児童と、高齢者や避難困難者が多数在宅していることが考えられます。

また、消防団員も災害現場に出動していることが予想され、どのように地域住民の避難誘導を進めるべきかを小学校職員や自主防災組織が検討した結果、高学年の児童に避難の援助をしてもらうこととなりました。

避難訓練中、私たち消防団員は、

道路誘導や避難経路の確認方法の指導などを行いました。

訓練は、児童、自主防災組織主体で行われ、「道路を通る場合は塀の転倒を考え、必ず道路の真ん中を歩く。」「瓦礫の撤去などを考え、車イス一台に、複数名の補助をつける。」など、児童それぞれが考え訓練を行っている姿を見ていると、「災害時、この児童たちは必ず地域のために活躍してくれるであろう。」と頼もしく思いました。

◆(山本分団 橋本 和則)

防災リーダー育成研修会

平成30年5月20日(日)、南木の本防災公園と体育館にて、防災リーダー育成研修会が行われました。

開会式に消防本部の方の挨拶で、「自主防災組織を活用している地域は復興の速さに繋がる。」という話に、参加者は関心を寄せていました。

次にNPO法人の方による講演があり、娯楽と防災訓練を組み合わせたイベントを提案しており、国内外で実際に行われた一例を動画で見ることができました。

楽しい中にも防災の知識を伝える要素が多く含まれており、とても参考になりました。

放水訓練では、参加者の方々が放水と停水時の注意やアドバイスなどに耳を傾け真剣に取り組んでいました。

当日は、大阪経済法科大学の学生消防隊(SAFETY)のメンバーも参加しており、災害時の消火に使用する小型ポンプの操作訓練、消火バケツを使用した初期消火訓練などのサポートをしており、様々な方が参加したとても良い研修であったと思います。

◆(山本分団 塚尾 誠一)

**大阪府地域防災総合演習**



平成30年5月19日(土)、淀川右岸河川敷一津屋防災公園において

大阪府地域防災総合演習が実施されました。

当日は曇っていましたが、雨の心配はなく、消防をはじめ警察、自衛隊、学生などたくさんの方々が参加していました。

訓練では、まず土のう作成をしましたが、全員が声を掛け合い、汗を流しながら男性団員と女性団員が協力し、土のうを完成させることができました。

その後、作り上げた土のうを規則正しく並べ、タコで締め、積み上げていき、頑丈な積み土のう工ができあがりました。

さらに消防による河川での救出救護訓練が行われ、中洲に取り残された要救助者を消防ヘリからのリペリングで隊員が降下し要救助者を吊り上げて救出、また川に流された要救助者にジェットスキーに牽引されたボートで接近し、素早く引き上げると、地上の消防隊と連携し、あつという間に救急隊へ引き継ぎ救急車内に収容されました。

命を救うための正確な技術と連携を見ることができました。

大阪府地域防災総合演習の閉会式での講評で『大阪府防災力を高めよ。災害0、犠牲者0を目指し

て』という言葉があり、国、府、市、私たち消防団員が一丸となって活動に取り組むことの大切さと絆を再認識することができました。今後更に訓練を積んでいき最大限の尽力を注ぎ、大阪府の防災と減災を目指していきます。

◆(龍華分団 西川 尊之)

**木村長門之守重成公祭礼を開催**

平成30年5月26日(土)、幸第一公園にて木村長門之守重成公祭礼が行われました。

梅雨入りしたにもかかわらず、天候も良く、各諸団体や地域の方々を招き、参拝していただきました。



また、毎年恒例になりました大阪甲冑隊や、お囃子グループ彩華の皆様にはボランティアでの参加により、祭礼に華を添えて頂きました。

関係者の皆様ありがとうございました。

午後からは、夜店も出て地域の子供たちの声と天神囃子の音色で遅くまで賑わっていました。

最後に今年から誠に勝手ではございますが諸事情により、祭礼開催日を5月最終土曜日に変更させていただきます。

ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

◆(西郡分団 棚田 秀行)

**恩智川水防訓練**

平成30年4月28日(土)、東大阪



市花園中央公園で恩智川の水位上昇を想定した水防訓練が実施されました。



本年度は、北西方面隊(久宝寺・西郡・八尾・龍華)の各分団から20名の工法団員を選出し、積み土の工法を実施しました。

積み土の工法は、洪水により堤防が沈下したり、水かさが増えて堤防から溢れそうになった時に使われる基本となる工法です。

任務分担として、土のう作りの人、間詰の土を運ぶ人、土のうを積み人、タコで土を固める人に分かれ、岡井小隊長指揮のもと手際よく作業を行いました。

土のうは、重さが30kg〜50kgにもなり、土を土のう袋に入れ、運

び積むのは、大変な作業です。

訓練時は、予め資器材が用意されておりましたが、スムーズに対応できなかったが、実際の状況では、全て揃っているとは限りません。

さらに、災害活動現場では、足元が悪く思うように作業が進まないかもしれない、そのような状況でも冷静な判断が必要になります。

今回の訓練を経験したことにより、実際の災害でどのように行動し、住民等の協力者へ作業内容の指示をどう出せばよいかを学ぶことができ、消防団員としてのレベルアップに繋がりました。

今後、後輩団員や家族を含めた地域の人々に培った経験を伝え、いかに協力することが大切かをもちと広めていき、災害時の被害の軽減に努めていきたいと思います。

◆(久宝寺分団 土谷 研太)

### ポンプ揚水訓練実施

南高安分団では、毎月2回揚水訓練を実施しています。

最近、地震や台風の災害に直面したこともあり、団員一同、身の引き締まる思いで普段の訓練に臨んでいます。

9月の台風21号でも、想像以上の被害があり、これからどんな災害が起こるかますますわからない状況となる中、以前消防本部の方から、震災時は火災がいたる所で発生し、消防車が足りなくなると聞きました。

そんな時、消防団としてどこまでできるのかと、訓練後の屯所で団員と訓練の反省とともに、今後の災害へ対する課題について、遅くまで語り合いました。

これから起こるであろう大災害に立ち向かうため日々訓練に励んでまいります。

◆(南高安分団 山川 修二)



### 応急手当指導員講習

平成30年5月12日(土)、消防本

部において、応急手当指導員講習が行われ、女性分団の4名が受講しました。

講習は、この日から4日間にわたり実施され、救急救命士の資格を有している、消防本部警防課消防団係の西口主任による講義と、三角巾を使用した止血法、応急担架の作製方法、傷病者の様々な搬送方法等の実技講習でした。

中でもAEDを使用した心肺蘇生法実技講習は毎回行われ、しっかりと知識を習得できました。

テキストには載っていない状況を想定した「こんな場合はどうしたらよいでしょうか。」などの沢山の質問にも一つ一つ解りやすく回答をいただいた事で、不安が解消できました。

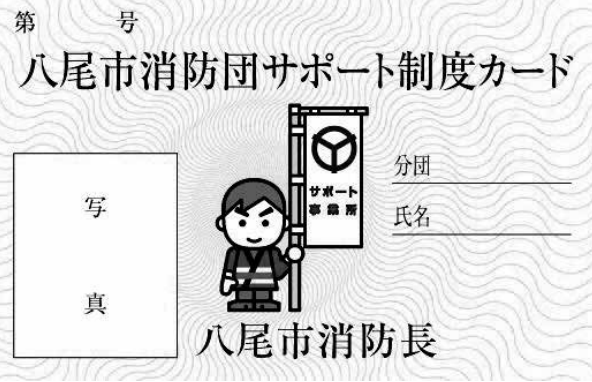
特に命に係る状態の傷病者救護は、救急車が到着するまでの間に居合わせた人が手を差し伸べることで大変重要です。

今回の講習を受け応急手当の知識をより多くの方に伝えたいと思いました。

私自身、応急手当指導員としてまだまだ経験不足ですが、先輩方に一日も早く追いつける様頑張りたいと思います。

◆(女性分団 小宮 美奈)

サポート店紹介



消防団サポート店についてご存知ですか。

八尾市消防団サポート制度カードを作成すると制度参加店から特典を受けることができます。

今回は高安分団エリアで受けることができるサポート店から2店舗ご紹介します。

【グッピー】  
近鉄服部川駅前すぐにあるグッピーです。

お昼は、ほのほの喫茶店、夜になると一転、お洒落な洋風居酒屋に変わります。

牛すじの洋風どて焼きや田舎鶏

の煮込みカレーなど、シェフのこだわりのメニューが日替わりで味わえます。



中でも「低温調理のオージービーフみすじ」はとても柔らかくてジューシーで、是非食べていただきたい逸品です。

お酒の種類もビールにワイン、プレミア焼酎、ハイボール、カクテルなど豊富に揃っています。

打ち上げやちょっとした飲み会に一度足を運んでみてください。

店主より「少しでも地域のためがんばっている人達のお役に立てればと思ひ何杯飲んでもドリンク100円引きしております！」

お問い合わせ

Tel 072-941-8123

※夜の営業、17時30分以降に消防団サポートカード提示でドリンクが全て100円引き

【清水園&くるりファーム】

次に、紹介するのは、神立にあります清水園&くるりファームです。

河内平野を見渡せる高安の麓、水呑み地藏尊へのハイキングコース沿いに清水園があります。

イチゴ狩りを中心とした農園で、6千株を超える多品種イチゴの高設栽培や季節の野菜を栽培、販売しています。



また、併設されている「フラワー

ショップくるり」にはブリザードフラワーの予約販売もあり、いつも消防団活動を支えてくれている家族や恋人へのプレゼントにもおすすめです。

お問い合わせ

Tel 090-11906-9589

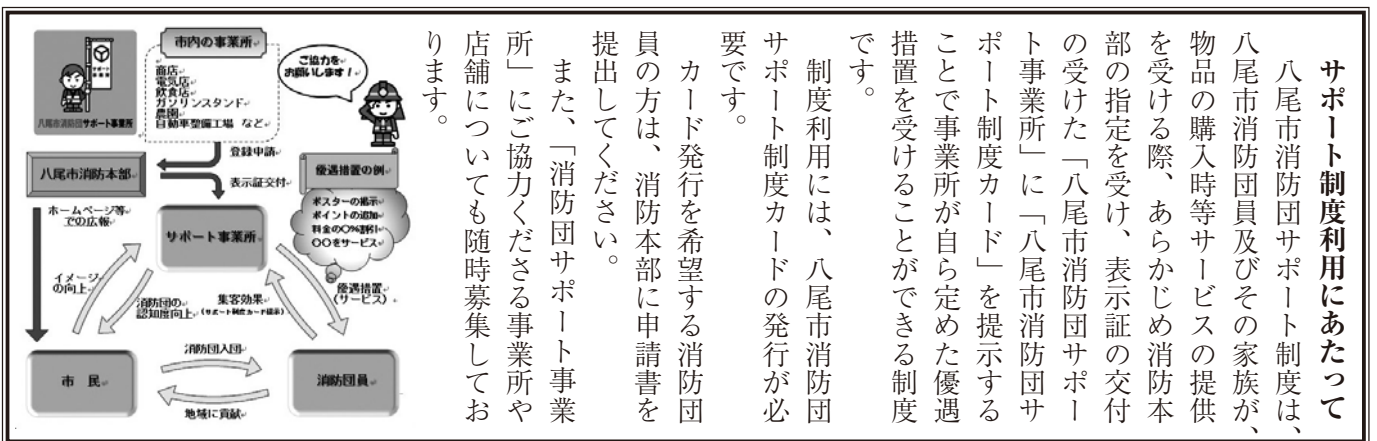
サポート制度利用にあたって

八尾市消防団サポート制度は、八尾市消防団員及びその家族が、物品の購入時等サービスの提供を受ける際、あらかじめ消防本部の指定を受け、表示証の交付を受けた「八尾市消防団サポート事業所」に「八尾市消防団サポート制度カード」を提示することで事業所が自ら定めた優遇措置を受けることができる制度です。

制度利用には、八尾市消防団サポート制度カードの発行が必要です。

カード発行を希望する消防団員の方は、消防本部に申請書を提出してください。

また、「消防団サポート事業所」にご協力くださる事業所や店舗についても随時募集しております。



中河内地区支部消防総合訓練



平成30年7月22日(日)、大阪府中部広域防災拠点において、平成30年度中河内地区支部消防総合訓練が実施されました。

今年は、災害級の暑さと言われる中、当日も晴天で気温はぐんぐんと上り、参加した東大阪市消防団、柏原市消防団、八尾市消防団の3消防団の参加者は、汗を流しながらも緊張感のある訓練ができました。

中河内地区支部消防総合訓練では、9月2日(日)に、開催される第62回大阪府消防大会に出場す

る柏原市消防団(小型ポンプ操法の部)と八尾市消防団(ポンプ車操法の部)が、訓練を披露しました。両市消防団とも日頃の訓練成果を十分に発揮し、素晴らしい操法が披露されました。

今年度は、本市消防団が出場するポンプ車操法の部は、全国大会への出場がかかっており、大濱支部長から激励を受ける選手達は、「絶対に全国大会へ行くぞ」と、決意溢れる顔をしていました。

暑い中ではありましたが、規律ある訓練が実施できました。

◆(八尾分団 鈴木 卓也)



八尾市防災訓練



平成30年8月26日(日)、八尾市立大正コミュニティセンターにおいて八尾市総合防災訓練が実施されました。

総合防災訓練の内容として、地域住民による避難訓練、炊き出し訓練、消防・水防団員による水防工法訓練を行い、体験型ブースとして、避難所・土のう作成・水中歩行・水没ドア開閉・集中豪雨が用意されていました。

八尾市消防団は『せき板工』と呼ばれる水防工法を行いました。

この工法は、堤防から水が溢れ出る越水が発生した場合に用いられる工法です。



◆(大正分団 北野 智傑)

訓練中は実際の災害時が想定される天候とは裏腹に、晴天に恵まれましたが、災害現場においては足場も乱れ、悪天候の中での作業が予想されます。災害時には普段から培ってきた連携をもとに、迅速に行動ができるように訓練を積み重ねていくことが被害を軽減するために重要であると考えます。

本訓練を通じて参加した方々は、水災害の恐ろしさを体験でき、家族を守るためには、早期避難が大切であると感じたのではないのでしょうか。

一人でも多くの方が防災意識を高め、災害に備えていただくことが大切であると感じました。

# 第62回大阪府消防大会を終えて



**指揮者** 始めに一言「優勝してしまいまし

今年大阪で一番の指揮者です。当初は、不安と重圧が両肩にのしかかり、チームのリリーダとしてまずは自分がミスなく操法をできるようにと、場所を選ばず訓練したのが、つい最近のことのように感じます。

冒頭では、少しふざけているように感じられた方もいらっしゃると思いますが、この長い訓練をくじけずやり遂げられたうれしい気持ちを出してしまいました。

この結果は、選手5人それぞれが自分のやらなければいけないことを考え、導きだし訓練に臨んだことが、優勝に繋がったと思っております。

しかし、選手5人だけではこの結果に辿り着くことはできず、大正分団、志紀分団、また激励に足を運んでくださった各分団の方々、全ての人があつての優勝と思っております。

長きにわたり、訓練を見続けていただき、時には厳しく時には優しく思いやりのある指導をしてくださいました大正分団、志紀分団、また消防本部の指導者の皆様、本当にありがとうございました。

また、優勝というプレゼントありがとうございました。

志紀分団弓削分隊 井形 肇



**1番員** この度、ポンプ車操作の1番員として、出場させていただきました。

約1年前から自主訓練を始め、何も分らず、大丈夫かと不安だらけでしたが、4月から本格的に訓練が始まり、南西方面隊の先輩方や指導員の方々と、何度も何度も余裕ホースの取り方を訓練することで、少しずつ形になっていきました。

大会が近づくにつれ、不安、緊張、プレッシャーに押し潰されそうでしたが、多くの先輩や仲間から「大丈夫」、「今までやってきたことに自信を持って普段どおりに」など多くの激励をいただき、そのおかげで、冷静に訓練に、そして大会本番に臨むことができ、優勝を勝ち取れたと思います。

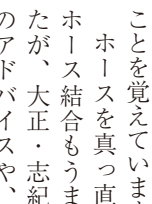
この優勝は、携わってくださった全ての方々の団結力があつての結果だと思えます。

長期にわたり、訓練、自主練とありがとうございました。

また、優勝という貴重な経験をありがとうございました。

私は、2番員として、大阪府消防大会に参加しましたが、動画などで過去の全国大会出場者の動きを見て、正直自分ができるのだろうか、引き受けてから不安になった

志紀分団 田井中分隊 中川 貴哉



**2番員** 私は、2番員として、大阪府消防大会に参加しましたが、動画などで過去の全国大会出場者の動きを見て、正直自分ができるのだろうか、引き受けてから不安になった

ことを覚えていきます。ホースを真っ直ぐ投げられない、ホース結合もうまくできない私でしたが、大正・志紀分団の先輩方からのアドバイスや、訓練後の自主訓練を時間も気にせず見ていただいた皆様のおかげで、自信を持って訓練に臨めるようになってきました。

大会本番では、口がカラカラになる程緊張していましたが、声援を力に頑張ることができました。表彰式では、結果が出て私たちが優勝しているとすぐに気づくことができま

また今後、10月の全国大会向け訓練が続いていきますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

志紀分団 田井中分隊 宮平 誠二



**3番員** この度、第62回大阪府消防大会ポンプ車操作の部に、3番員として出場させていただきます。

4月から週2回の訓練が始まり、夏の酷暑の中の訓練を乗り越え、優勝という結果を勝ち取ることができました。

これも訓練の準備や撤収などをしてくださった皆様のサポートがあったからこそだと思っております。

また私たちに繰り返し指導くださった消防本部の皆様、本当にありがとうございました。

志紀分団 老原分隊 山倉 有策



**4番員** 昨年の10月より自主訓練を始め、4月から週2回、消防本部の方々に熱意あるご指導していただき、皆で訓練に取り組んできた結果、優勝を手にすることができました。

大正分団、志紀分団の皆様には、ホース巻きや会場設営、ビデオ撮影、助言等々数えきれないほどのサポートをしていただき、そのサポートがあつてこそ選手が訓練しやすい環境であつたと思っております。

心から感謝いたします。また、今回の訓練にあたり、職場の理解、家族の支えがあつたことで、最後まで頑張りきることができました。

それと同時に、訓練を通してできた南西方面隊の「団結力」が優勝へと導いてくれたのだと思っております。

今後もこの経験を活かして、消防団活動も頑張っていります。

志紀分団 老原分隊 森本 道明



## ◎ 広報部員名簿 ◎

委員長	山本分団	塚尾 誠一
副委員長	龍華分団	中東 正行
	曙川分団	久保 元伸
委員	久宝寺分団	奥村 貴司
	西郡分団	玉谷 研太
	八尾分団	棚田 秀行
	龍華分団	安田 武仁
	大正分団	今井 隆
	曙川分団	中村 道弘
	南高安分団	西川 尊之
	高安分団	佐々木一智
	山本分団	北野 智傑
	志紀分団	大槻 秀樹
		浅井 孝一
		西尾 克徳
		山川 修一
		増田 卓司
		松浦 英治
		福田 大祐
		森本 大祐
		平池 稔